

風化しつつある水害経験の 伝承と発信に関する研究

前田 晴美¹・中西 宣敬²・中田 住久²・瀧 健太郎²

¹: 滋賀県 土木交通部流域治水政策室(〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1)

水害との苦闘の歴史

川は、恵みをもたらし、時に水害をもたらす。

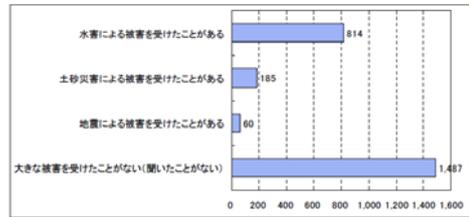


地域防災力アンケート

- 2008年12月に実施（滋賀県全自治会対象）
- 回答数 2465/3211自治会（回答率77%）

問21 過去に自然災害により被害を受けたことがありますか？

項目	人数
1. 水害により被害を受けたことがある	814
2. 土砂災害により被害を受けたことがある	185
3. 地震により被害を受けたことがある	60
4. 大きな被害を受けたことがない(聞いたことがない)	1487



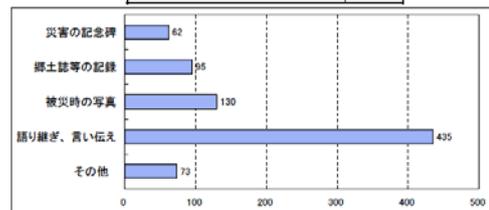
問22 地域のみなさんは過去の被災について知っていると思いか？

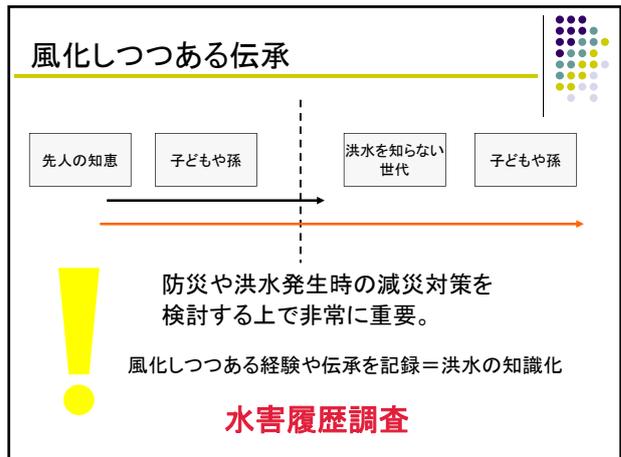
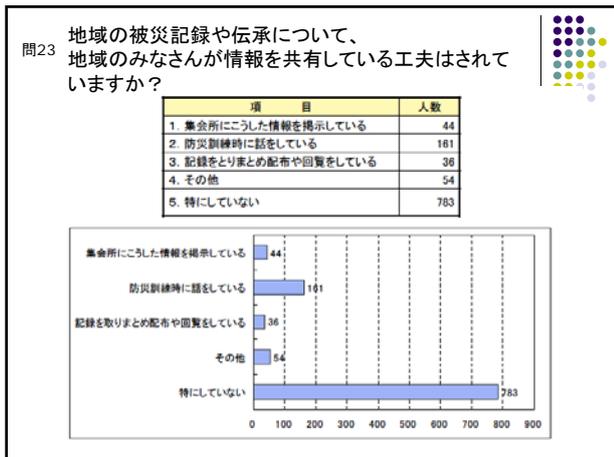
項目	人数	割合
1. みんなが知っていると思う	78	8.6%
2. だいたいみんなが知っていると思う	167	18.4%
3. 若い世代は知らないと思う	435	47.8%
4. 新住民は知らないと思う	72	7.9%
5. ほとんど知らないと思う	91	10.0%
6. まったく知らないと思う	5	0.5%
不明・無回答	82	6.8%
回答数	910	100.0%

1059自治会が自然被害を受けている。
そのうち60%の自治会が「若い世代」や
「新住民」は知らないと応えている。

問23 被災の記録や伝承がされているものは？

項目	人数
1. 災害の記念碑	62
2. 郷土誌等の記録	95
3. 被災時の写真	130
4. 語り継ぎ、言い伝え	435
5. その他	73





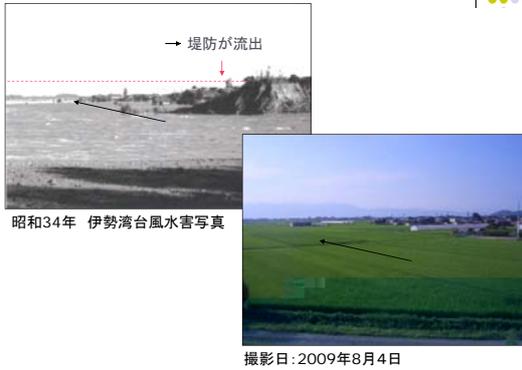
- ### 調査方法
- 滋賀県水害履歴調査(2009年7月～10月まで)
 - ・日野川流域(東近江圏域)
 - ・天野川流域(米原市) } 18地域、約40名
 - インタビュー
 - ・質問項目を設定して直接インタビュー
 - 水害写真
 - ・水害経験の記憶を引き出すために。
 - ・写真と同じ場所を水害経験者と共に確認(現場歩き)



- ### 調査結果
- 水害体験の鮮明な記憶の抽出
(昭和28年13号台風・昭和34年7号台風・伊勢湾台風)
 - 水害写真の抽出
水害写真からの地域の水害の情報が得れる智恵
 - 洪水に対する先人たちの智恵の抽出
61の智恵
- ↓
- 洪水の知識化**



堤防決壊の状況：写真からの智慧



水害写真の智慧

地域の水害状況を伝え、問いかけている



61の智慧の分析 鳥越の「日常的な知識」を適用

- 1) 個人的な体験知
- 2) 生活組織(村など)内での生活常識
- 3) 生活組織外からもたらされる通俗道德

洪水の智慧をあてはめると！！

- 1) 個人の被害経験
- 2) 洪水から集落を守る智慧、信仰やその仕来り
- 3) 河川整備・避難勧告

分類1：個人的な知識 31／61件

水害の個人の体験を通じた智慧

- ・3～4日雨が降ると集落に水が来るので、炊き出しを行い、水も含めて家の2階へ避難
- ・よく洪水に見舞われる集落の民家は、お仏壇を滑車で2階へあげる
- ・子どもの頃、日野川のどこが切れたって話を家の中でよく聞いた。切れる所によって水が来る場所が分かるから。



女性の智慧が隠されている！？

分類2：生活常識 39／61件

集落の周囲環境を捉えた、集落内の固有の知識

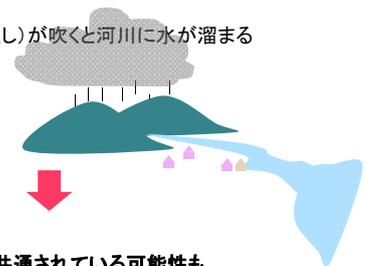
さらに4つに分類！！

- 1・気候の智慧
- 2・生活からの智慧
- 3・集落内での制度
- 4・共助

生活常識の分類1：気象の知識

河川流域の気候の特徴を捉えた知識

- ・琵琶湖からの北風(北返し)が吹くと河川に水が溜まる
- ・北風は雨を呼ぶ



広域的に共通されている可能性も

生活常識の分類2: 生活からの智恵

集落固有の智恵

- ・キレシヨウと呼ばれる、堤防が切れると伝承する場所がある
- ・民家の周囲を竹や木で覆い、洪水によって民家を守る
- ・民家が浸水しないための工夫(石垣を積むなど)



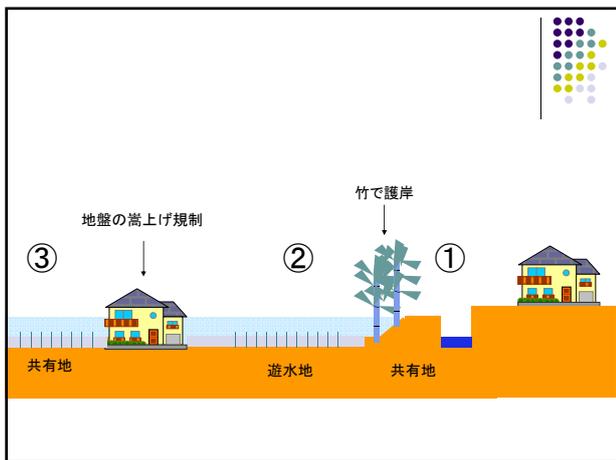
集落の特徴を捉えた智恵である可能性も

生活常識の分類3: 集落内での制度

洪水から集落を守るための土地規制

- ① 民家の対岸にある堤防を一部低くし、個人による堤防嵩上げを防ぐためその部分を集落の共有地に定め、藪で護岸する
- ② 遊水地を設け、水の流れをかえないための地盤嵩上げの規制
- ③ 遊水地でも、さらに危険箇所は集落の共有地として定める

共有地という土地制度(しぼり)によって洪水から集落を守る制度があることが確認された



生活常識の分類4: 行動の智恵(共助)

- ・火焚きをし、堤防の中を監視している(一種の魔よけ)
- ・堤防が決壊するとき半鐘を鳴らし、地域の人々に危険を促す
- ・土壌積みをする



男性に受け継がれる智恵! ?の可能性も

近年の水害

山林荒廃や河川改修により以前の川とは大きく変わった

今の川の特徴を捉える ← 水害経験者でも...

水害を知らない「若い世代」「新住民」も... →

今の川の特徴を捉える + 過去の水害経験・智恵



今後の課題

過去の経験や智恵
(日常な常識)

水害写真・痕跡

はん濫マップ・避難勧告
(通俗道德)

技術

